

農業委員会委員応募状況（令和8年1月5日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 1

被推薦者（推薦を受ける者）			
(かとう たけし) 加藤 岡	職業	営農年数	
	農業	36年	
	年齢	耕作面積	
	53歳	15500 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
(1) 応募の理由について 県地区は以前から農業の盛んな地域で、認定農業者も多く様々な営農が行われ相互のかかわりも盛んです。しかし近年農業者の離農も多く認定農家及び集落営農組織等に集中がみられます。機械費資材費の高騰はその経営を厳しいものとしています。今までの経験をいかし次世代育成や地域農業の発展に尽力したいと考える。			
(2) 農業委員に就任した場合の抱負 国の推進する地域計画の設定準備から係わっており今後も地域農業の振興・発展に寄与していきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成元年3月	高校卒業		
平成元年4月	就農、現在に至る		
平成29年～令和5年	農地利用最適化推進委員 就任		
令和5年7月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
令和6年7月	株式会社加藤農場 設立 現在に至る		
		認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
県地区農業推進協議会	水野 誠		
	構成員の人数		
	23名		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業振興及び農業者所得向上	三重北農業協同組合理事・総代、 農業委員、農地利用最適化推進委員		
推薦理由			
・長年にわたり豊富な農業経験があり地域の信頼をえている ・地域農業や農家情報に精通しており、農地の利用調整や耕作放棄地発生の未然防止・解消等農業委員会業務に大きく貢献できると考える ・地域計画作成に準備段階から携わっており農業委員会活動に十分な知識があると判断します			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月5日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 2

被推薦者（推薦を受ける者）			
(いとう あきひろ) 伊藤 明洋	職業	営農年数	
	農業	47年	
	年齢	耕作面積	
	65歳	180 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
(1) 応募の理由について 県地区は以前から農業の盛んな地域で、認定農業者も多く様々な営農が行われ相互のかかわりも盛んです。今期委員を務めて地域農業の様々な問題に直面しましたが次期についても継続して地域の発展に尽力したいと考えます。 (2) 農業委員に就任した場合の抱負 国の推進する地域計画の設定準備から係わっており今後も地域農業の振興・発展に寄与していきたい。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和61年4月	三重用水土地改良区 入職	令和5年4月	県地区三重用水入水組合 組合長就任、現在に至る
令和2年3月	三重用水土地改良区 退職	令和5年4月	北野町農家組合 副組合長就任、現在に至る
令和2年4月	就農（専業）		
令和6年7月	農業委員会委員 就任、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
県地区農業推進協議会	水野 誠		
	構成員の人数		
23名			
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域農業振興及び農業者所得向上	三重北農業協同組合理事・総代、 農業委員、農地利用最適化推進委員		
推薦理由			
・長年にわたり豊富な農業経験があり地域の信頼をえている ・地域農業や農家情報に精通しており、農地の利用調整や耕作放棄地発生の未然防止・解消等農業委員会業務に大きく貢献できると考える ・地域計画作成に準備段階から携わっており農業委員会活動に十分な知識があると判断します			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月5日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 3

被推薦者（推薦を受ける者）			
(こばやし かずし) 小林 一司	職業	営農年数	
	会社員兼農業	15年	
	年齢	耕作面積	
	69歳	30 a	
	性別	営農類型	
	男	水稻	
抱負等			
これまでの農業で培ってきた経験を活かし地域の農業者の皆さんに納得いただける活動をするため、農業委員会委員という立場からより広い視野をもって取り組んで参りたいと思います。 まだまだ至らぬ点もありご不便をおかけすることもあるかと存じますが、任命されたしだいには責任をしっかりと果たして行けるよう邁進する所存です。 今後ともより一層のご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
昭和54年～昭和61年	コクエイ緑地（株）勤務	令和5年4月	桜町南区農家組合 総代就任、現在に至る
昭和61年7月	(株)三重造園 入社 現在に至る		
平成22年	就農、現在に至る		
		認定農業者である	無
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
桜地区農業推進協議会	村田 久和		
	構成員の人数		
	37名		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
農林行政の円滑な推進、 農業の振興と農業経営の安定	地区農業の振興について活動を行える 地区内の農業従事者		
推 薦 理 由			
小林氏は、桜地区を代表する農業者の一人であり、同地区的農業振興に貢献していただいています。 また、桜町南区農家組合の総代をしており、農業に関する識見もあり、人柄も申し分なく、委員としての職務遂行にあたり独立性が確保できる人物です。 農業委員会の委員選定に関しまして、小林一司氏を推薦いたします。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月5日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 4

被推薦者（推薦を受ける者）			
(しみずかな) 清水 加奈	職業	営農年数	
	農業	21年	
	年齢	耕作面積	
	46歳	900 a	
	性別	営農類型	
	女	茶	
抱負等			
私はこれまで家族でかぶせ茶を作り、全国第1位の生産量である「かぶせ茶」を1人でも多くの方に知ってもらいたいという想いから、2010年に「かぶせ茶カフェ」をオープンしました。直接消費者に美味しさを伝えたり、子供達に茶や茶工場の見学、淹れ方体験等を行い、地元農作物の魅力を伝える活動をしています。このような経験と女性ならではの柔軟な発想を活かし、遊休農地の活用や6次産業等で新たな価値を作ることで、次世代の農業経営が安定することや、農業のやりがいを生み、四日市市の農業を少しでも明るく、守っていきたいと思います。			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成13年4月	株式会社丸山園本店 入社	平成25年3月	四日市茶農家女子会 発足 (うち、会長1期)
平成16年11月	株式会社丸山園本店 退社	平成29年～令和5年	四日市市農業再生戦略会議 委員
平成16年12月	有限会社マルシゲ清水製茶 入社、現在に至る		
		認定農業者である	市認定
農地利用最適化推進委員 への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
水沢地区農業推進協議会	本郷 圭三		
	構成員の人数		
	32人（役員数）		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域内農業の振興	地区内農地経営主		
推薦理由			
地区の中心的な農家として、多角的に農業に長年従事し、強い責任感で、地域農業の先導役として、活躍されており、今後の地域農業振興に向けての活動に高い意欲を持ち大きく貢献できると考えます。			

農業委員会委員応募状況（令和8年1月5日現在）

推薦（法人又は団体）

応募番号 5

被推薦者（推薦を受ける者）			
(伴 浩人)	職業	営農年数	
	農業	35年	
	年齢	耕作面積	
	61歳	580 a	
	性別	営農類型	
	男	果樹・花き・茶	
抱負等			
<p>水沢特産であるかぶせ茶栽培をはじめ、梅栽培とその加工（梅干）そして、花野菜苗の生産を行っています。そのため一年通じ労働力の安定と経営でのリスク回避を図っています。大学でも農業分野の専攻後、アメリカでの農業研修に1年参加しました。青年／指導農業士の活動での視察研修に積極的に参加し、市内及び、県内のいろいろな農業者との交流を通じ、いろいろな分野の農業の見分を探めています。</p> <p>海外研修の関係では、アメリカ本土、ハワイ、ドイツ、スイス、オランダ、タイ、スリランカの農業視察も参加しました。社協では地区のメンバーと共同地区のイベントに参加出店したり、小学校、地区での花植にも参加したり、コミュニティースクールで水沢小の現状の把握し、自分の持っている情報を現供できないかと思っています。また、今後の地域農業や、農地の活用にも何か、アイデアが出せればと思ってます。</p>			
年 月	勤務経歴	年 月	団体における経歴
平成2年3月	就農、現在に至る		三重県国際農業者交流協会 副会長就任、現在に至る
			水沢地区社会福祉協議会 副会長就任、現在に至る
			水沢小学校コミュニティースクール会長等
		認定農業者である	広域認定
農地利用最適化推進委員への推薦・応募状況	無	同意事項について	同意する
推薦者			
名称	代表者又は管理人の氏名		
水沢地区農業推進協議会	本郷 圭三		
	構成員の人数		
	32人（役員数）		
活動の主たる目的	構成員の資格・要件等		
地域内農業の振興	地区内農地経営主		
推薦理由			
地区の中心的な農家として、多角的に農業に長年従事し、強い責任感で、地域農業の先導役として、活躍されており、今後の地域農業振興に向けての活動に高い意欲を持ち大きく貢献できると考えます。			